

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回覧後は確認印を押して次へ回してください。

第77号

雀部のふくし

令和2年1月 雀部地区福祉推進協議会

(題字 関 氏)

新年のご挨拶

おたがいさまで支え合うことが
できる地域社会の構築に向けて



福知山市社会福祉協議会
会長 夜久

新年あけましておめでとうございます。

雀部地区の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

福知山市の人口の約3割が高齢者となりました今日、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るように、地域の一人ひとりが「おたがいさま」で繋がり支え合うことが出来る地域社会を構築していく事が急務となっています。そのためにも、雀部地区福祉推進協議会では会長を先頭に、今後も、地域全体の福祉のけん引役となって、さらにご活躍いただきますことをご期待申し上げます。

年頭にあたり、貴協議会のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



雀部地区福祉推進協議会
会長 井上

明けましておめでとうございます。

雀部地区の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと存じ上げます。

常日頃は、当協議会の運営につきまして、ご支援とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、去年は元号が平成から令和に改まり、世の中が平穏で幸せになる時代をと願っておりまして。ラグビー世界大会も開催されうれしい出来事もたくさんありましたが、相次ぐ台風で中部、関東地方では甚大な被害が発生するなど、避難体制を含め新たな防災対策の再考が求められた年でもありました。

当地区では、水害対策として由良川を中心にあちこちで築堤や河川改修、ポンプ場等の工事が行われ、地域の風景が一変するほどその規模と進捗には驚かされます。

さて今年の夏は、東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。昭和39年の前回五輪のとき私は、男子100m走の決勝を小学校の図書室で級友と一緒に見て興奮したことを思い出します。今年はどんなドラマが生まれるのか期待に胸が膨らみます。

また、この1月からは明智光秀が主人公のNHKの大河ドラマ「麒麟がくる」が放映されます。既に福知山城を中心に多くの観光客が訪れ、なお一層賑わいが増すとともに、大河ドラマの視聴が待ち遠しくその期待とうれしさに心躍ります。

当地区も今や超高齢化を迎え100歳以上の方も数多くおられます。引続き当協議会では、

公民館などとも連携しながら、子どもから高齢者まで、障害のある方、ない方、心配や困りごとを抱えた方々など、地区内の全ての人々が、安心して暮らせる地域を目指して参ります。

このためには、皆様のご協力、ご支援がなくては決して叶いません。引き続きご協力とご支援の程、重ねてよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

日新中学校

校長 今 村

新年あけましておめでとうございます。

地域のみな様には、様々な面でお世話になり、この場をお借りし感謝申し上げます。

いつも地域のみな様に見守られて成長する日新中学校の生徒たち、本校は学校創立から41年が過ぎ、市内で最も生徒数の多い中学校となりました。

今年度は地域を愛し、社会の役に立つ人になって欲しい、そんな願いを込め学校教育目標に「貢献」という2文字を入れました。「貢献」の具体的な形として前田教育集会所で開催される「ふれあいダイニング」に生徒が参加したり、地域クリーン作戦を開催したりと、今中学生ができるボランティア活動に取り組んでいます。これら活動をする中で一人一人の生徒にボランティアの心が生まれ、はぐくまれることを期待しています。

去年は、日本各地で大規模な災害が相次ぎました。そんな時活躍する若者たちを見る度に心強く感じました。これからも地域に貢献する人材、社会に貢献する人材、人々の役に立つ人材が、日新中学校から生まれ続けるよう教育活動を進めていきます。これからもよろしくお願いいたします。



令和2年が幸多きことを願って

雀部小学校

校長 塩 見

新年あけましておめでとうございます。令和になって初めての正月を迎えます。去年は、女子ゴルフに沸き、ラグビー世界大会に日本中が元気をもらった年でした。

今年は、東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。世界に祭典にワクワクしています。近年は10代の若者の活躍も目立ちます。アスリートが技と力を競い合う姿は見てのものに感動を与えてくれます。

スポーツでにぎわう反面、現代社会の問題は、非認知能力（相手を思いやったり、自分を好きになったりする気持ちなど）が低下していることです。幼い子や高齢者を大切にする心が希薄化しているニュースも流れます。

学校では、多くの児童と一緒に活動する中で、高学年がよい手本を示したり、違う学年同士で遊んだりすることで、高学年への憧れや他人への思いやりの心を育成しています。それぞれ家庭環境が違う児童が学校生活の中で相手への思いやりや優しさを育てることを願っています。令和2年が皆様にとって幸多きことを祈念いたします。



新年のご挨拶

雀部地区老人クラブ連絡協議会

会長 大 槻

新年あけまして、おめでとうございます。

輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと存じ、心からお喜び申し上げます。

平素は、雀部地区老人クラブ連絡協議会に格別の御理解と御協力を賜りありがとうございます。

私ども、略して「雀部老連協」においても新規加入者を募集し、役員の方々にも御尽力頂いておりますが、中々の状況でございます。新年早々、新規加入の御依頼申し上げるのは恐

縮かと思いますが、一人でも多くの方に加入頂き、老人会の輪が増々広がることを切望しております。御協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。私もまだ至らぬ点が多々あるかと思いますが、精進して参りますので、御支援、御協力の程、重ねてよろしくお願い申し上げます。

後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

日新地域包括支援センター
杉山

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、この雀部地域に日新地域包括支援センターを開設させて頂いてから丸4年が経ちました。

地域の皆様には日頃から何かとご支援、ご協力を頂き、ここまでこれたと職員一同感謝しております。

しかしながら、超高齢社会を皆様と支えていくための「地域包括ケア」はまだまだ発展途上です。高齢者の皆様が、いつまでもお元気で、たとえ認知症になられようとも、住み慣れた地域で暮らし続けられることが我々の目指すところです。

これからも日新地域包括支援センターは、皆様と協力させて頂きながら、地域福祉のために邁進していく所存ですので、よろしくお願い致します。



高齢者と小学生とのふれあいサロンの感想

例年11月中旬に行われている高齢者と雀部小学校3年生とのふれあいサロン（雀っ子サロン）が、今年は10月24日（木）午後に各自治会の集会所などにおいて開催されました。

少子化のためか対象の小学3年生が地区にいないという場合もあり、たまに高齢者だけのサロンになる事もありますが、今回は全地区で開催されました。いつも子どもたちには、自己紹介や踊り、ゲームなど、お互い楽しめる内容を考え練習したうえ、当日披露していただいています。

このふれあいサロンについて、ある地区の民生児童委員から次のとおり感想が寄せられましたので紹介します。

今回参加の小学生は、男の子ばかりで最初は少し恥ずかしそうでした。しかし、自己紹介が終わり、高齢者とジャンケンをして負けた方が肩たたきをするゲームを通じて、お互い段々と打ち解け笑顔も見られ、最後はミッキーマウスの曲を演奏し、ユーアンドアイの歌を唄って締めくくり、参加者みんなが和む交流となりました。

近ごろは、高齢者がよその家の子どもたちと接する機会も少なくなりました。ある高齢者から「このように元気で可愛い小学生と久しぶりに話をし、遊べて、とても楽しい貴重なひと時が過ごせた。」と喜んでいただき感無量でした。

雀部小学校3年生の皆さん、本当にありがとうございました。



第8回きょうと地域福祉活動実践交流会に参加して

昨年12月7日(土)昼12時から、京都府丹後文化会館・峰山地域公民館において、京都府市町村社会福祉協議会連合会と(社福)京都府社会福祉協議会が主催する交流会が開催されました。これは京都府下全部の社会福祉協議会が年1回、一堂に会して行われる交流会です。今回は北部担当のため京都府丹後文化会館が会場に選ばれました。

オープニングで「オトばあちゃんの回覧板」という劇の上演がありました。現・宮津市木子で何百年も続いてきた、身寄りのないお年寄りを村人が交代で介護する習慣に基づいて作られていました。

介護を人ごとにせず村全体の課題として受け止め、お互いの共倒れ防止にもつながるこのしくみが昭和20年代まで続いたそうです。

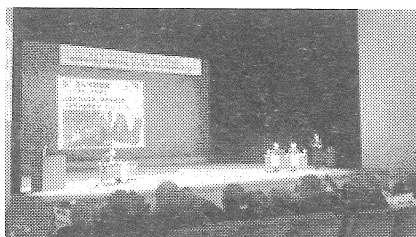
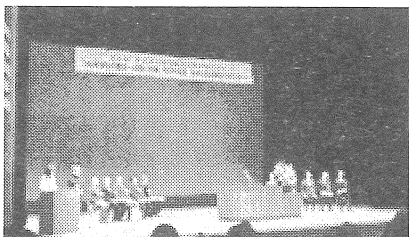
続いて、公益財団法人さわやか福祉財団会長 堀田力さんの基調講演があり、実践報告、各種体操、展示コーナー見学、クロージング講演と続きました。堀田さんの基調講演では、京都府北部だけでなく全国的に、少子高齢化の人口減少によって、自治会存続の危機や買い物難民の増加、公共交通の縮小、医療機関の減少、学校の統廃合などますます生活しづらくなってきています。

もはや、介護保険があれば何とか暮らしていける時代ではなくなっている。昭和から平成にかけ、社会や人々の生活様式が多様化・複雑化して、令和になり介護保険料も上がり、介護人材の不足が顕著となってもきています。

これからは、地域みんなで効率的に支える仕組みが必要です。令和は昭和の時代に見られたような仕組みに似ているが、具体的にして欲しい事を発信してお互いが気持ちよく助け合える関係を築き、世代を超え、話し合うことで解決を図っていく事が大切です…との事でした。

実践報告では、丹後町のスマートフォンを活用した新しい支え合いタクシーの仕組みと利用状況の報告があり、続いて峰山町元町区の地域住民のための生活援助組織「福祉委員会」の活動報告がありました。何れも、少子高齢化が進み人口減少が著しい深刻な地域事情から生み出された、地域一丸となつての取組みでした。

そのほか地域課題の解決手法として、展示コーナーで見た、それぞれの地域の課題掲パネルに、参加者が自身の案をタックシールに記入し壁紙に添付していく方法は参考になりました。単純で安易ではありますが、だれもが一堂に会さなくても一定期間内に都合の良いときに自分の意見を提示でき、他人の意見も見ることができます。人前で意見を言いにくい人には意見が出しやすいという利点もあります。その後、意見を集約し公平にとりまとめ、それを周知するまでには時間と手間も要しますが、これも一つの方法かと思えます。



○交通事故防止について○

～思いやりで高めよう!京都の交通マナー～

京都府からのお知らせより

あなたやあなたの大切な人が交通事故の加害者や被害者にならないためにも、交通ルール・マナーを遵守し、次の事項を実践しましょう。

<運転者の方は>

- ・早めのライトの点灯とハイビームの活用で歩行者を早めに発見しましょう
- ・信号機のない横断歩道では、速度を落として歩行者の有無を確認し、歩行者を優先しましょう
- ・全席シートベルトを着用して大切な命を守りましょう
- ・「飲酒運転は絶対にしない、させない」を徹底しましょう
- ・自転車は夜間ライトを点灯して目立たせましょう

<歩行者の方は>

- ・反射材を着用して自分の存在を目立たせましょう
- ・道路を横断するときは、横断歩道等を利用し、必ず左右の安全を確認しましょう

